

北海道斜里町における基本計画の概要

計画のポイント

斜里町は、農業・漁業と観光業を基幹産業として発展してきた地域であり、平成29年度の農業生産額が約107億円、漁業生産額が約122億円、観光消費額が約122億円となっている。また、平成17年7月17日に世界自然遺産登録された「知床」をはじめ豊富な観光資源があることから、卸売・小売業、飲食店・宿泊業が雇用者数の約31%（平成26年経済センサス-基礎調査）を占めており、売上高は約37%（平成28年経済センサス-活動調査）、付加価値額が約27%（平成28年経済センサス-活動調査）となっている。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、観光関連産業への新規事業者の参入を後押しして雇用の創出を行うとともに、観光関連産業の付加価値額の増加と観光関連産業から他産業への高い経済波及を目指す。

促進区域

北海道斜里町

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均45百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を2件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.42倍の波及効果を与え、促進区域で**128百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

斜里町の世界自然遺産知床等の観光資源を活用した**観光関連分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,458万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

雇用者数：2人以上増加 又は 給与支払額：1.6%増加

制度・事業環境の整備

- ・道税の課税の特例に関する条例
- ・斜里町観光宿泊施設整備促進奨励金
- ・北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・「地域未来牽引企業」との連携
- ・斜里町中小企業融資制度

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・斜里町商工会
- ・NPO法人知床斜里町観光協会
- ・斜里町指定金融機関
（北洋銀行・北海道銀行・網走信用金庫）

計画期間

計画同意の日から平成35年度（2023年度）末日まで